



令和7年度

公開審査会報告書

令和7年6月15日（日） 13:00～16:30

南部健康福祉センター 2階ホール



こうちこどもファンド公開審査会スケジュール

日 時：令和7年6月15日（日）13時00分～
会 場：南部健康福祉センター 2階ホール



13:00

かいかい
開会

13:10～

こうかい
公開プレゼンテーション

応募団体が3分以内で発表します。その後、審査員と応募団体との間で、5分以内で質疑応答（審査員からの質問に応募団体が回答）を行います。4団体発表後、5分間の休憩を挟み、残りの4団体の発表が行われます。

14:50～

きゅうけい
休憩

きゅうけいじかん あいだ 休憩時間の間に、こども審査員が一次審査を行います。

15:00～

しんさいん
審査員による公開協議

こども審査員の一次判断の結果をもとに、審査員が公開で話し合いを行います。そのなかで、審査員からもう少し質問があるというグループに対して、再度質疑応答を行い、最終判断となります。

15:50～

きゅうけい
休憩

きゅうけいじかん あいだ 休憩時間の間に、こども審査員が最終判断を行います。

16:00～

しんさけっかはっぴょう
審査結果発表

しんさいん かんそうはっぴょう
こども審査員からの感想発表

16:15～

しんさいんちょう こうひょう
審査委員長からの講評

16:30

へいかい
閉会



【目次】

1 翻訳について	1
・ 翻訳員等の紹介	
・ 翻訳の流れ、翻訳基準について	
2 応募団体によるプレゼンテーション・質疑応答	3
・ 発表団体① 江ノロッ子戦隊マモルンジャー	
・ 発表団体② 春野地域活性化プロジェクトチーム	
・ 発表団体③ KnItter's	
・ 発表団体④ Footlights 高知	
・ 発表団体⑤ Neo Voting	
・ 発表団体⑥ Lien	
・ 発表団体⑦ おもてな ship !	
・ 発表団体⑧ おもいっきり !	
3 翻訳員による公開協議	30
4 翻訳結果発表	39
・ 翻訳結果発表	
・ こども翻訳員からの感想発表	
・ 卯月翻訳委員長からの講評	
資料編（助成金交付要綱）	44



I 審査について

審査員等の紹介

【こども審査員（12人）】

田中 莉望（朝倉第二小学校4年）
植村 優（附属小学校4年）
村井 琴音（初月小学校5年）
古用 健真（横内小学校5年）
矢野 葵（江陽小学校6年）
岡田 航佑（初月小学校6年）
高橋 莉（大津中学校1年）
岡崎 優太郎（高知中学校2年）
川上 あかり（附属中学校3年）
増田 善文（高知中学校3年）
高橋 奏（高知国際高校1年）
竹崎 万紗（高知丸の内高校3年）

※ 植村審査員及び川上審査員は、審査会当日欠席

【こども審査員サポーター（7人）】

審査委員長：卯月 盛夫（早稲田大学 顧問）
野村 美尋（谷本物流株式会社 取締役）
北山 めぐみ（高知工業高等専門学校ソーシャルデザイン工学科 准教授）
尾崎 昭仁（特定非営利活動法人 NPO 高知市民会議 事務局長）
森岡 千晴（高知県青年団協議会 監事）
永野 隆史（高知市 教育長）
明坂 通子（高知市 市民協働部長）
※ 北山氏及び森岡氏は、審査会当日欠席

【サポート役】

こども審査員サポーター 宮田 伯子（高知市教育委員会 学校教育課 指導主事）
こどもファンドアドバイザー 畠中 洋行
こどもファンドアドバイザーサークル

【うちこどもファンド審査員 OB・OG スタッフ】★Special Thanks!!

（司会）増田 光祥（H28～R6までこども審査員）

（敬省略）

当日の審査の流れ

- ① 応募団体は、助成申請した活動内容を3分以内でプレゼンテーションします。
- ② 各団体のプレゼンテーションが終了するごとに、審査員との質疑応答の時間を5分間設けます。
- ③ プrezentationと質疑応答の結果をふまえ、こども審査員が各団体の事業について「いいね!」「もう少し質問がある」「もうちょっと!」のいずれの項目に該当するか、一次判断を行います。
- ④ 一次判断の結果をもとに、こども審査員と大人審査員（こども審査員サポーター）が公開で助成するかしないかの審議を行います。特に「もう少し質問がある」「もうちょっと!」にシールが貼られている団体に対して、審査員から再度、質疑応答を行います。
- ⑤ 公開での審議後、こども審査員10人が最終判断を行い、こども審査員の過半数6人以上が助成すると判断した場合に助成が決定します。
- ⑥ 審議結果については、公開の場で発表します。

審査基準について

【村井 琴音審査員から】

6月8日に事前審査会を行い、審査項目を決めました。

- ① 協力してみんなで楽しめるか
- ② 地域がよくなるか
- ③ 計画性・継続性があるか
- ④ 活動に対して本気で取り組めるか

この4つを基準に審査を行います。

今日はよろしくお願いします。



2 応募団体によるプレゼンテーション・質疑応答

発表団体① 江ノロっ子戦隊マモルンジャー

(活動テーマ：江ノロわくわくプロジェクト ～あいさつ運動で街を元気にする）



皆さんこんにちは。「あいさつ運動で街を元気にする」という取組を行っている江ノロっ子戦隊マモルンジャーです。

活動目標は、交通安全運動を通じて、江ノロ地区を安心・安全で元気な街にすることです。

協力してくれる隊員の皆さんに、「マモルンジャーハンカチ」を渡します。隊員は、地域で交通安全運動に参加されている方や、犬の散歩をする人、通勤・通学中の人等様々で、地域の見守りをしてくれる「正義の心」を持つ人です。隊員の皆さんには、このハンカチを身に着けてもらいます。ハンカチには、「不審者を見つけたら 110 番」「大ケガをしている人を見つけたら 119 番」「防災等、困った時の心得」が書かれています。

マモルンジャーハンカチを身に着けることで、4つの良い点があります。1点目は町中の人がハンカチを持つことで、守ってくれていると感じることから「安心して登下校ができる」こと。2点目は色んな人がハンカチを持っていることで、お互いに交流ができ、「結束力が高まる」こと。3点目は買い物や散歩のついでに身に着けることで、「生活の一部」として行えること。4点目はケガをした際に包帯の代わりになるといった「魔法のアイテム」ということです。

7月から、江ノロ地区での様々な交通安全運動に参加することを予定しています。また、9月には江ノロ小学校とコラボして、防災学習を行うことを計画しています。

【質疑応答】

竹崎審査員

ハンカチはどのように身に着けるのですか。

江ノ口っ子戦隊マモルンジャー

見える場所であればどこでも大丈夫です。首や腕に巻く等、どこでも構いません。



田中審査員

マモルンジャーの活動をアピールし、協力隊員を募集すると書いていますが、どのようにアピールする予定ですか。

江ノ口っ子戦隊マモルンジャー

あいさつ運動等の地域での活動を行うことで、「自分もやってみたい」といったワクワクした気持ちを与え、協力隊員の募集につなげたいと考えています。

増田審査員

最初の質問でハンカチを「首に巻く」といった回答がありました。ハンカチのサイズはどれくらいのものですか。

江ノ口っ子戦隊マモルンジャー

ハンカチというよりは風呂敷に近く、50cm×50cmほどを予定しています。このサイズであれば、持ち運びもしやすく、ケガの際にも対応できると考え、このサイズになりました。

岡崎審査員

団体補足資料の中で、「不審者が不審者にならないように」と書かれていました。しかし、本当の不審者がこのハンカチを持った時、不審者として認識されず、犯罪等が起こるのではと思ったのですが、どうお考えでしょうか。

江ノ口っ子戦隊マモルンジャー

本当の不審者がハンカチを持ったとしても、不審者がハンカチを見て「がんばらないとな」と思うことで、不審者でなくなることを期待してそのように書きました。



高橋奏審査員

ハンカチで地域を良くするという活動を思いついたきっかけを教えてください。

江ノ口っ子戦隊マモルンジャー

最初はハンカチではなく、あいさつ運動から考えました。自分たちの学校で行われているあいさつ運動では、少人数にしかあいさつができないため、それを地域に拡大して、皆さんに気持ち良く通行してもらおうという思いから始まりました。

卯月サポーター

(ハンカチの作成枚数が) 500枚と書かれていますが、多いと思いますか、それとも少ないと 思いますか。それとも、来年度は増やそうとか、1,000枚にしようという希望は持っていますか。

江ノ口っ子戦隊マモルンジャー

500枚と書いていますが、街全体に広げたいと思っていますので、最終的にはどんどん増やしていく予定です。

江ノ口っ子戦隊 マモルンジャー

自分たちの目指す街作り

江ノ口プロジェクト ～明るい街作り～

マモルンジャー ハンカチの良い点

1. ハンカチを持っていると「君もマモルンジャー ハンカチをもっているんだね」と交流でき結束力が高まります
2. 町中のみんながハンカチを持っていると「守ってくれるんだな」と思い安心して登下校ができます
3. わざわざ行くのではなく買い物や散歩ついでに行くことで誰しも生活の一部としてできます
4. マモルンジャーハンカチは、怪我や荷物を運ぶときなどに変幻自在に変えれる魔法のアイテムです

計画

- 7月…児童会と連携しあいさつ運動を行い活動アピール
7月…地域にあいさつ運動をし自分たちの活動アピールをし協力隊員を募集
7月26日…江ノ口祭りで活動アピールをし協力隊員を募集
9月22日…学校のPTAや江ノ口校区安全会議と連携して朝の交通安全運動に参加
毎月20日…学校のPTAや江ノ口校区安全会議と連携して朝の交通安全運動に参加

小学生の私たちに何ができるか

～そのときどう動く～

岡村 真 先生



講師 高知大学名誉教授
高知大学防災推進センター客員教授

日時 令和7年9月2日（火）14:00～15:30

会場 高知市立江ノ口小学校
北舎3F 多目的ホール

住所：高知市新本町1丁目8番12号
TEL：088-875-8215



主催 江ノ口小学校 × 江ノ口っ子戦隊マモルンジャー
【こうちこどもファンド】

共催 永野 雄敏 × 横山 明
江ノ口小学校PTA
江ノ口連携協議会（江ノ口plus）
江ノ口地区防災連合会



発表団体② 春野地域活性化プロジェクトチーム

(活動テーマ：春野地域活性化プロジェクト～お祭り参加で春野を元気に！～)



皆さんこんにちは。春野地域活性化プロジェクトチームです。よろしくお願いします。

私たちが住んでいる春野地域は、自然が豊かで、川の近くに「あじさい街道」と呼ばれる街道があります。夏には色鮮やかなあじさいが道を彩って、とても素敵な景色が見られます。また、野菜をはじめとした特産物がたくさんあります。更に、地域や県内の運動施設として、春野総合運動公園があり、多くの団体や地域の方々の集まる場となっています。昨年は、高知ユナイテッドSCがJ3に昇格したこともあり、県内外問わず、多くの方たちが春野町を訪れました。

このように、近年目覚ましい成長を遂げている春野町ですが、課題として少子高齢化が進み、小中高生等の若い世代が参加するイベントが少なくなっています。また、若い世代の地域への関心が少なく、地域の人たちとの交流がありません。

そこで、地域の方々が多く参加する、JA主催の「ハルピア祭り」に参加したいと思っています。このお祭りを、リーフレットやチラシを用いて、各小学校や地域の集会所等に宣伝し、アピールすることで、地域のお祭りに興味を持ってもらい、足を運んでもらうきっかけになると思います。

また、私たちがお祭りに積極的に参加し、出店することで、若い世代の人たちが、多くの地域の方々と交流する機会になると思います。実際に私たちが出店しようとを考えているのは、主に小中学生を狙いとした、時間を決めて開催するbingo大会と、輪投げのお店です。年齢関係なく、誰でも参加しやすいお店にしたいと思い、この2つのお店を選びました。参加してくれた人に景品として、駄菓子と春野町で有名なあじさいをモチーフにした小物を自分たちが作成して配りたいと考えています。

私たち中学生がお祭りを宣伝したり、参加することで、地域全体の交流の輪が広がり、地域が活性化され、皆が過ごしやすいまちを作ることができると思います。また、学校の奉仕活動や、あいさつ運動に参加していただいている地域の方々に、恩返しができるのではないかと考えています。この活動を通して、私たち自身も春野町について知り、これからの方針として、地域を交えて考えができるようになりたいと思っています。

リーフレット作成については、実際に地域の方にインタビューをしようと思っています。ハルピア祭り参加後には、反省会に加え、お礼参りをし、次年度の活動につなげるため、活動報告書を作成します。

地域を今以上に盛り上げ、若い世代の人たちに春野の良いところをたくさん紹介してもらえるよう、私たちが「お祭り参加で春野を元気に！」をスローガンとし、地域で最高のスタートを切りたいです。

【質疑応答】

増田審査員

ハルピア祭りとはどんな祭りですか。

春野地域活性化プロジェクトチーム

ハルピア祭りというのは、春野中学校の近くのJAで行われている祭りで、色々な店が出店したり、地域の人が運営してくれています。



田中審査員

bingoや輪投げで集まったお金は、まちづくりにどのように活用していくりますか。

春野地域活性化プロジェクトチーム

bingoや輪投げは全員参加料無料で行おうと考えています。

岡田審査員

祭りでは、bingo大会や輪投げの他に、何か行いますか。



春野地域活性化プロジェクトチーム

現在はその2つだけを考えています。

竹崎審査員

bingo大会と輪投げで、どれくらいのお客さんに来てほしいかという目標はありますか。

春野地域活性化プロジェクトチーム

bingo大会は、1時間に1回のペースで5回行おうと考えており、各回50人程の参加を予想しています。

尾崎サポートー

bingo大会や輪投げにおいて、通常の出店と同様に行うのでしょうか。それとも、何か面白い工夫や、「春野らしい」内容になっているのでしょうか。

春野地域活性化プロジェクトチーム

内容は通常通りのものを考えていますが、景品を春野町のあじさいをモチーフにした小物を作成することで、春野町の特徴を表そうと考えています。

岡崎審査員

支出の部分に「bingoカード 50×3」とありますが、増やすことは検討されていますか。

春野地域活性化プロジェクトチーム

現時点では5回の開催を予定していますが、参加者数を見ながら回数を検討したいと思っています。

<h3>僕らの春野</h3> <p>石川琢馬 山中琉斗 佐田みのり 上田弓愛 小島真子</p>	<h3>春野とはどんなところ？</h3> <p>道に咲き誇るあじさい 野菜などの特産物 春野運動公園 →高知ユナイテッドのホーム</p> 
<h3>春野地域の課題</h3> <p>少子高齢化 若い世代向けのイベントの減少 若い世代の地域への関心が少ない →地域との交流の場もない</p> 	<h3>活動内容</h3> <p>リーフレットやチラシ作成 →各小学校や地域の集会所に宣伝 ↓ 若い世代もお祭りに興味を持つ →若い世代の人たちが多くの地域の方たちと交流</p>
<h3>活動の目的</h3> <p>地域のお祭りに興味を持つてもらう 地域の良さを知ってもらう 交流する機会を作る 地域全体の交流の輪が広がる 地域を活性化し、みんなが過ごしやすい町を作る</p>	<h3>出店内容</h3> <p>bingo大会 1時間に一回 輪投げ 常時 参加料無料！ </p>
<h3>景品</h3> <p>駄菓子 あじさいをモチーフにした小物</p> 	<h3>この活動によって...</h3> <p>地域の活性化 →地域の方々への恩返し </p>
<h3>活動を通して</h3> <p>私たち自身も春野町についてより知る →地域を交えて考えていく</p>	<h3>リーフレット作成において</h3> <p>地域の方々に インタビューを予定 </p>
<h3>イベント参加を終えて...</h3> <p>反省会 ご協力頂いた方々へのお礼回り 活動報告書の作成 →次年度にもつなげていく</p> 	<h3>終わりに</h3> <p>地域を今以上に盛り上げ、若い世代に春野のこと を広めてもらうため... 「お祭り参加で春野を元気に！」 をスローガンにかけ、地域で最高のスタートを きりたい </p>

発表団体③ KnItter's

(活動テーマ：ハンドメイドで温もりをプラス～認知症マフの認知度とともに～)



皆さんこんにちは。KnItter'sです。

私たちは、「ハンドメイドで温もりをプラス～認知症マフの認知度とともに～」というテーマで活動を行っていきます。

「認知症マフ」とは、認知症の方の落ち着かない手を温かく包み、視覚や触覚のケアとして使用するものです。活用できる方は、触ることでの心地よい刺激を好む方や、視力低下等で外部からの感覚への刺激が少ない方等様々です。

活動計画としては、7月に文化祭の準備、8月にお年寄りの方に向けた画用紙でのカーネーションやタオルベア作り、9月に文化祭での物品販売とアンケートの実施、10月・11月にアンケートの集計及び認知症マフを提供する病院数の調整、12月・1月に認知症マフの作成、2月・3月に病院に認知症マフの提供を行います。

活動目的は、全国的に進んでいる高齢化・認知症患者の増加をふまえて、認知症マフの認知度を高め、地域の活性化につなげることです。

過去に実施済みの活動として、近森病院さんに資金提供をいただき、話し合い等を経て認知症マフの提供を行いました。参加者の中で初心者の子は、「マフを作成することが初めての経験で大変でしたが、完成したマフを褒めてください、嬉しかったです。また、この活動を通じて地域活動に貢献できることを実感しました。」と話していました。また、経験者の子は「認知症マフについて知り、患者さんの支援ができて嬉しかったです。」と話していました。

現時点での認知症マフを作成した効果は様々あり、主に「マフを触ると落ち着く」という声をいたしています。個人差はありますが、個人差はありますが、触ることで安定する方が多く、ずっと触っている方もいます。見込まれている効果として、点滴を抜いてしまう患者さんや、それを管理する医療従事者の方が安心して病院で過ごすことができます。また、身体的拘束器具をつける負担を減らすことができます。

これまでにいただいた質問について紹介します。認知症マフを知ってほしい対象者については、高齢者の方や認知症を持っている方のご家族になります。夏休み中の認知症マフの作成については、分担を行い、できる範囲で作成していく予定となっています。チラシの配布については、認知症マフの説明の紙等をチラシとして作成し、文化祭で配布する予定となっています。認知症マフを作成する時間については、個人差はありますが、本体を作成するのに1日から2日、パーツについては1日で2つほど作成できます。

今後の展望としては、主に「活動の継承」「認知症マフの認知度拡大」「新たなデザインの発想」の3つを考えており、この活動を多くの方に知ってもらい、引き継いでもらうように努め、認知症マフの認知度の拡大を図っていきます。認知症マフを使用することは皆さん可能なのですが、元々は身体的拘束器具が必要な方向けなので、年代ごとの不安や落ち着きに合わせたアイテムを今後作成していきたいと考えています。

【質疑応答】

竹崎審査員

文化祭での物品販売とありますが、具体的に何を販売する予定ですか。

KnItter's

既にとある部活動から依頼を受けており、そこにはシュシュ等の髪ゴムを考えています。一般販売では、シュシュやヘアリボン、巾着袋を考えています。また、体験型ブースとして、フェルトを使ったカードケースの作成を考えています。

岡田審査員

認知症マフはどのようなデザインですか。

KnItter's

実際の認知症マフを本日持ってきてています。病院でお渡ししたものは、こちらに花等を付けたものになっています。ただし、好きなデザインについては個人差がありますので、そちらについては現在調査中です。

卯月サポーター

審査員に回して見てもらったらどうでしょうか。

(作成した認知症マフの回覧)



矢野審査員

オーテピアでイベントを開催すると書かれていますが、どうしてオーテピアにしたのですか。

KnItter's

オーテピアは多くの方が集まることのできる場所なので、色んな人に認知症マフについて知ってもらえると考えたからです。また、高知市の中心部にあって、路面電車も近いので、交通の便が良く、気軽に立ち寄ってもらえると考えたからです。

増田審査員

団体名が「KnItter's」になった理由を教えてください。

KnItter's

「Knit」という英単語が「編む」という意味で、「Knitter」が「編む人」になります。そこに'sを付けて、たくさん増えたら良いなという意味を込めて KnItter'sになりました。

高橋栄審査員

どんな経緯で認知症マフを知ったのですか。

KnItter's

私（発表者）の母が近森病院に勤めており、そこから認知症マフを知りました。そして、「私も何か貢献できないかな」と考えたのが活動につながりました。もう一つは、私がもう一つの団体と掛け持ちをしていて、その中で「自分で団体を作りたい」と思っていました。そこで認知症マフを知ったことで、この団体が立ち上りました。

野村サポーター

Kn “I” tter's の “I” が大文字なのは理由がありますか。

KnItter's

“I” が小文字だと見えにくいと思ったので、大文字にしました。

野村サポーター

マフの寄附先を保護猫カフェやこども食堂にした理由は何ですか。

KnItter's

保護猫カフェについては、新しくお店ができたということをニュースで知り、ハンドメイドで猫の支援ができないかと思ったことと、そこから新たなつながりができないかなと思ったからです。こども食堂は中学生くらいの子が呼びかけているのを見かけて、支援できないかなと思ったからです。子どもは折り紙等の工作が好きだと思うので、子ども側の意見も聞きたいと思い候補に加えました。他に、本当に支援が必要なところは私たちで探していくたいと思っています。

KnItter's

「認知症マフ」って？

認知症の方の落ち着かない手を穏やかに暖かく包み込みます。
また、触覚や視覚といった感覚を刺激するケアにも用います。

マフを活用できる基準って？

- ・触ることによる心地よい刺激を好む方
- ・視力低下などで外部からの感覚刺激が少ない方
- ・高次機能障害など行為障害がある方（掴んだものを離さないなど）
- ・ミトンなどによる身体的拘束をしている方など



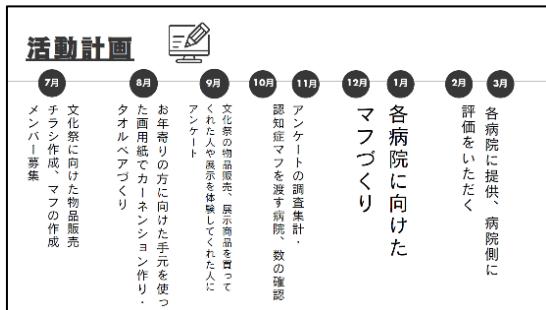
目次

- 01 私たちについて
- 02 現時点での効果、見込まれる効果
- 03 活動目的
- 04 今後の展望

私たちについて
総人数 25名
私たちは、

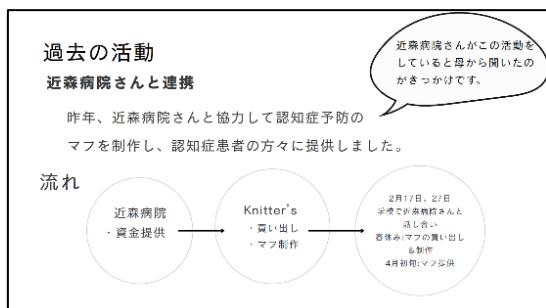
ハンドメイドで温もりをプラス
～認知症マフの認知度とともに～

私たちについて
をテーマとした活動を行っていきたい
Knitter'sです。



活動目的

認知症マフの作成や文化祭でのハンドメイドの物品販売（売り上げの一部は福祉施設へ募金）、手先を使って簡単に作れるタオルベアの作成に高齢者の方と体験してみるなどの活動を計画しています。全国的に高齢化が進んでおり認知症患者も増加している現状があります。自分たちで設定したテーマをもとに近森病院やきみのたねこうばうさんの連携して「認知症マフ」の認知度を高め、地域の活性化につなげたいと考えています。



アドバイスをいたいたいたこと

- ・知つてほしい対象者は？ 高齢者の方、認知症を持っている人の家族
- ・夏休み中のマフ作成はどうするのか？ 夏休みでは私達の活動の広報活動をメインとしたいので多くの作成はできないと思いますが、分担を行ってできる範囲の作成をしていく予定です。
- ・チラシなどを作って文化祭で配ったほうがいいのではないか？ 物品販売のブースで私達の活動に付いてのチラシの作成と、認知症マフの説明のチラシを作る予定です。
- ・作るのにかかる時間 本体で1~2日（個人差）
- ・バーツは作るものにもよるが、1日で2つほど作れると思っています（個人差）



①文化祭などを通したくさんの人にこの活動を知つてもらい、引き継いでもらえるよう努力します。

②より多くの方に「認知症マフ」の存在とその効果を知つてもらい、広く活用されるように発信にも力を入れていきたいです。

③認知症マフにとどまらず、年代ごとの不安や落ち着きに寄り添えるようなアイテムの作成を行いたいです。発達障害やがん患者の方のニーズにも応えられるようなものも届けていきたいと考えています。



発表団体④ Footlights 高知

(活動テーマ：お菓子を食べて高知のお店をもっと元気に！～地元（足下）からの活性化～)



皆さんこんにちは。私たちは、Footlights 高知です。

私たちの活動テーマは、「お菓子を食べて高知のお店をもっと元気に～地元（足下）からの活性化～」です。

私たちの団体名でもある「Footlight」は、「足下灯」という意味があります。地元が脚光を浴び、地元から元気にできたらという願いを込めています。

私たちの活動の目的は、①高知ゆかりのお菓子やパンをより多くの人に知ってもらうこと、②個人商店にくるお客様を増やして地域を元気にすることの2点です。なぜお菓子やパンに着目したかというと、手軽に買ってパクっと食べられるからです。

活動の流れを説明します。まず、中心街から徒歩20分圏内のお店を見つけます。次に、高知の食材を使っていたり、観光地等をモチーフにした商品があるか確認し、購入します。3つ目に、インタビューを申し込みます。その時に、作成するパンフレットとポップを置いてもらえるかの確認も行います。この頃に、(中心市街地にある)インフォメーションセンター等にも置いてもらえるかの確認を行います。パンフレットの作成方法は、まずお店に取材に行き、原稿を作成します。原稿ができたら、お店に再度訪問し、内容に間違いがないか確認してもらいます。そして、できあがったパンフレットは、お世話になったお店やインフォメーションセンター等に置かせてもらいます。2年目の活動につきましては申請書をご覧ください。

活動を通して得られる、私たちの学びと地元への還元について説明します。皆さんは、高知の食材を使ったお菓子や高知をモチーフにしたお菓子を知っていますか。例えば、大橋通商店街にある高知プリン亭さんの「仁淀ブルー」、愛宕町にあるたまごファミリーさんの「はりまや橋バウム」、天神橋商店街の小笠原さんが作っている「板垣がんこまんじゅう」があります。こんなにも素敵でおいしいお菓子があることを、もっと観光客の人にも地元の人にも知ってもらいたいし、私たちももっと知るべきだと思いました。

そこで、私たちの活動の意味が出てきます。1つ目は、私たちが調べて知ることができます。2つ目は、食べて、もっと知って、伝えられるようになります。3つ目は、その内容をもっと多くの人に知ってもらうことができることで、これがパンフレットの意味になります。

4つ目は、観光客や地元の人とお店をつなぐことができます。さらに、私たち自身も新しいお店を知ることができると、それらのお店の他の商品を知り、体験し、人に伝えることで、さらには人とつなげることができます。

【質疑応答】

竹崎審査員

何店舗程度のお店を想定していますか。

Footlights 高知

既に和菓子を8店舗、洋菓子を9店舗、パンを7店舗見つけています。



田中審査員

パンフレットにはどのような工夫を考えていますか。

Footlights 高知

店舗への調査が終わった後、お店に合った工夫を考えます。

岡田審査員

「条件に当てはまる商品」とありますが、ここで言う「条件」とはどのようなものですか。

Footlights 高知

高知の食材を使ってたり、観光地等をモチーフにしている商品を指します。

永野サポーター

パンフレットといった紙媒体も非常に大切だと思いますが、SNSや動画といった手法は考えられましたか。

Footlights 高知

現在は考えていませんが、そういった手法についても今後検討していきたいと思います。

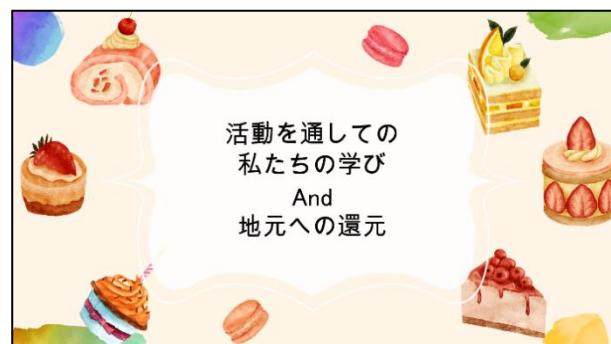
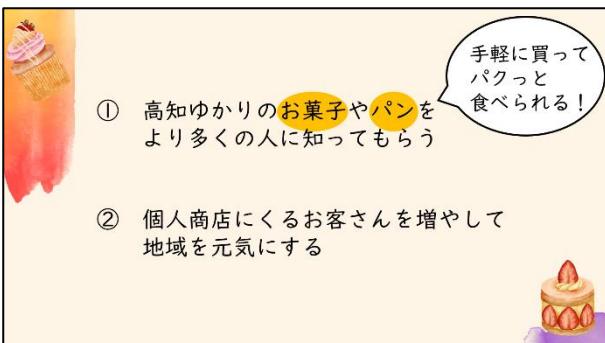
明坂サポーター

観光客の方が、皆さんがあなたが作られたパンフレットを見て実際に足を運んだことが分かったら、皆さんにとってもやりがいになると思いますが、そういったことでパンフレットの作成において工夫されることありますか。

Footlights 高知

先ほどのSNS等のご質問を受けて、新しく案が出ましたので、今後検討していきたいと思います。





発表団体⑤ Neo Voting

(活動テーマ：肥やせ君の知識、増やせ意味ある一票)



皆さん、こんにちは。Neo Voting です。

私たちは、若者に政治への興味・関心を持ってもらいたいという思いで活動しています。

Neo Voting は、今年で活動が2年目を迎えます。今年度は、昨年の反省を活かした活動をしていく方針です。

初めに、活動の目標です。私たちの活動の目標は、「若者の政治や選挙の関心を増加させて、投票率を上げること」です。高知県には、若い人があまり投票に行かないという問題があり、その原因として、政治への関心が薄い・選挙権を持つまでに選挙を身近に感じる機会が少ないといったことが考えられます。若い人たちの政治への関心を高め、投票の意義等を考えて、意味ある一票を投じる若者を増やします。そこで、私たちの活動テーマは、「肥やせ君の知識、増やせ意味ある一票」です。

次は、活動の内容です。活動の計画は、7月に小学校への出前授業の交渉・中学校に配布予定の動画の作成・模擬投票イベントに他校の生徒会に参加してもらうよう交渉します。8月にはイベント告知のチラシの作成を行い、9月には国際高校の文化祭でイベントの開催とその告知、10月にはオーテピアで模擬投票イベントの開催、11月に鏡川緑地公園イベントへの参加を行い、12月は報告の準備を行います。また、7月から1月にかけて新聞の作成も行います。

この活動を通じて、2つの効果が見込まれます。1つ目はイベントに参加してくれた人だけでも政治の動きや選挙活動に興味をくれるようになること、2つ目はこの活動を通して政治や選挙に興味をもってくれた人たちが選挙権をもった時の投票率が上がることです。

次に、私たちのこれまでの活動と、活動を支えてくれた団体様方を紹介します。私たちのこれまでの活動は、模擬投票イベントと、政治系トピックの新聞の作成及び校内掲載です。また、支援団体は、高知市選挙管理委員会様と高知市明るい選挙推進協議会様、そして、今後の予定として、高知市内の高校生徒会様や、高知国際高校写真部様の合計4団体様を予定しています。

次に、補足情報です。前回の模擬投票イベントでは選挙等に関心が薄い人の参加が少なかつたので、優勝賞品の見直しを行いました。また、来年度に向けた取組として、出前授業の開催について小学校と交渉したり、中学校に配布予定の動画の作成を行う予定です。自分たちと近い年代の人たちに選挙や政治について関心を持つてもらえるような動画にしたいと思っています。

【質疑応答】

竹崎審査員

模擬投票イベントの優勝賞品にモバイルバッテリーと優勝トロフィーがあります。模擬投票イベントでは当日の参加者を複数のグループに分けると思いますが、優勝したグループへのトロフィーの行先はどうなるのでしょうか。

Neo Voting

模擬投票イベントは1グループ3～4人を予定しており、その中で代表者2人に授与することを予定しています。

岡崎審査員

参加賞にアクリルキーholderがあります。これは選挙関連のものだと思いますが、選挙関連でアクリルキーholderになるものといえば、どのようなものがあるのでしょうか。



Neo Voting

このアクリルキーholderは、私たち Neo Voting のマスコットキャラクターのイラストをプリントしたものになります。そのため、選挙関連というよりは、団体関連のものになります。



古用審査員

模擬投票イベントの反省という点についてです。興味のない人を集めることができなかなか難しかったとあります。どのように集めましたか。

Neo Voting

前回の模擬投票イベントでは、Instagram や予告チラシ等を活用しました。今年はもっと詳しい情報を伝えていけたらと思っています。

高橋奏審査員

昨年の公開審査会では、なぜ新聞を作成するのかという質問に対し、分かりやすく若者に伝えたいという説明がありました。そこで、昨年の新聞の効果と、今年度も継続する理由を教えてください。

Neo Voting

新聞の効果については、正直なところあまり見られませんでした。それは多くの人には見てもらうことが出来なかったからです。今年継続して作成する理由については、内容の工夫や模擬投票イベントの参加の呼びかけ等を掲載し、リベンジとして作成を継続したいと考えています。

卯月サポーター

模擬投票イベントの優勝という概念がよく分かりません。模擬投票イベントのシステムについて教えてもらえないませんか。

Neo Voting

模擬投票イベントのシステムは、当日の参加者の中で1グループ3～4人程度でグループを作成します。そのグループの中で、主催者側からの問題提起に対し、その問題を十分に解決できる又は「良いな」と思える政策を話し合って考えてももらいます。それを各グループ発表していただいた後、自分が「良いな」と思った政策に投票していただきます。票数の一番多かったグループの政策が一番良かったということで、そのグループが優勝ということになります。



卯月 サポーター

各グループで政策を提案した人も投票権を持って、自分のグループや他のグループに一票を入れるということですか。あくまで個人ではなく、グループに投票するということですか。

Neo Voting

そうなります。

卯月 サポーター

選挙といつても国政・県・市と様々なレベルがあると思いますが、皆さんはどのレベルを想定されていますか。

Neo Voting

政治や投票、選挙に关心を持ってもらうため、まずは高知県のレベルを考えています。



本日の目次

- 活動の目標
- 活動の内容
- これまでの活動、協力してくれる団体
- 補足

01 | 活動の目標

01 活動の目標

若者の政治や選挙の关心を増加させて、投票率を上げること

高知県には、若い人達があまり投票に行かないという問題がある。
若い人達の政治への关心が低いこと、選挙権をもつまでに選挙などを自分事として感じられる機会が少ないとなどが原因と考えられる！
今年度の模擬投票イベントでは、政治に关心がなかった人達の参加数を増やしたい！
私達の活動で、若い人の政治への興味・关心を高めて、「投票に行く意味とは...」を考えて、意味ある一票を投じる人が増えると考えている！

※この場合の「若者」は小中高生である

テーマ

「肥やせ君の知識、増やせ意味ある一票」

02 活動の内容

02 活動内容

- ・小学校への出前授業の交渉
- ・中学校に配布予定の動画づくり
- ・他校生徒会への招待
- ・文化祭イベント
- ・模擬投票イベント
- ・新聞作成は毎月作成

2025年度

02 今年度の活動計画

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
模擬投票イベント （オーテビア） の準備	イベント告知の チラシ作成	国際高校文化祭での 告知	模擬投票イベント	鏡川緑地公園イベント への参加予定	報告会への準備			

02 見込まれる効果

イベントに参加してくれた人だけでも政治の動きや選挙運動に興味をもってくれるようになる。

この活動を通して政治・選挙に興味をもってくれた人達が選挙権をもった時の投票率が上がる。

03

これまでの活動、
協力してくれる団体

これまでの活動

- 模擬投票イベント
- 政治系トピックの新聞の作成・校内への掲載

協力してくれる団体

- 高知市選挙管理委員会
- 高知市内高校生徒会（予定）
- 高知市明るい選挙推進協議会
- 高知国際高校写真部（予定）

04 | 補足

模擬投票イベントについて

前回の模擬投票イベントでは、選挙などに関心がない人達に来てもらうことができなかった…だから今年は、もともと関心が薄かった人達にも集まってほしい！
もっと予告チラシに詳しい情報を乗せたり、優勝賞品を工夫したりすればいいと思った

来年度に向けた取り組み

来年度は小学生を対象に出前授業をしたい！
また、中学生に「選挙に行く意味とは」という内容の動画を5本見せたい
私達と年の近い人達に関心をもってもらえるような動画にしたい！

THANK YOU

ご理解ありがとうございました。

ARKグラフィック

発表団体⑥ Lien

(活動テーマ：日本の学校文化を伝える)



皆さんこんにちは、Lienです。

まず、私たちの活動の目的についてお話しします。私たち Lien の活動のゴールは、「身近な問題から始める国際理解」です。去年 Lien が開催したイベントで取ったアンケートから、「日本に住んでいるのに日本の文化を詳しく知らない・体験できていない」という声が見られたため、活動を通して海外の方とともに日本について学びたいと考えました。また、「日本の学校を体験したい」という声も見られたため、「疑似学校体験」を通して日本の文化を体験してもらうこととなりました。

次に、イベントの内容についてお話しします。「疑似学校体験」は、高知国際中学校・高等学校で、小学4年生以上の全ての人を対象として開催します。参加人数の上限は48人で、開催日は10月12日(日)を予定しています。校内で書道や茶道等の日本の文化や流行に触れつつ、年齢や国籍を超えた方々とアクティビティを通して交流をしたいと考えています。

次に、当日の詳細なスケジュールです。開始時刻は午前10時、終了時刻は午後2時10分となっています。時間割については、0時間目にあいさつやショートホームルーム、1時間目に学活として自己紹介、2時間目は国語の授業としてエイゴダーケや折り紙、3時間目は英語の授業としてジェスチャーゲームや被ったらダメゲーム、4時間目は体育の授業としてドッヂビーやバナナ鬼ごっこで参加者同士の交流を育み、昼休みは給食と希望者のみ茶道体験を行い、5時間目はジャアバーボンズさん音楽の授業をしていただき、6時間目は書道の授業で日本の文化に触れ、放課後は希望者でJKケーキ作りを行います。

最後に、このイベントが与える影響についてです。まず、外国人が日本の学校という普段はなかなか触れることのできない文化や学生の間での流行に触れることができます。また、日本人も外国人と関わり、協働することができます。これらにより、互いの国の理解やコミュニケーションの向上を図ることができます。

【質疑応答】

増田審査員

疑似学校体験の募集方法についてはどのように考えられていますか。

Lien

募集方法としては、作成したチラシの近隣の学校への配布や、Instagramでの告知を考えています。



増田審査員

申込みされた方の集計はどのようにされますか。

Lien

QRコードやGoogle Formsを作成し、アンケートに答えてもらう形で募集を行う予定です。アンケートでは、アレルギーの有無等について回答してもらいます。

竹崎審査員

申請書の中で、外国人への呼びかけとして就労外国人、青年団、龍馬学園の留学生へチラシ配布とありますが、就労外国人についてはどのようにコンタクトを取る予定ですか。

Lien

青年団に所属されている就労外国人の方や、ココフォーレ（高知県外国人生活相談センター）にもポスターの掲示をお願いします。

竹崎審査員

同じく申請書の中で、前回のイベントでの反響率が3%とありますが、これはどういうことでしょうか。

Lien

チラシを配布した全体のうち3%から申込みがあったということです。

尾崎サポーター

参加の呼びかけとして学校にチラシを計5,000枚配布されるのに対し、参加人数の上限が48人となっていますが、48人に制限する理由はありますか。



Lien

48人に制限している理由は、6人を1グループとして8グループを編成する予定となっているからです。また、当日は48人で2つのクラスを作り、それぞれ24人ずつの予定となっています。

尾崎サポーター

2クラスに制限する理由はありますか。

Lien

当日のLienのスタッフや募集するボランティアの方の合計人数を考えた結果、2クラスが最適だと考えたからです。

田中審査員

チラシを配布する学校はどのような基準で決めましたか。

Lien

まず自分たちが直接届けに行くことができる学校を選び、その後郵送のできる学校を選びました。



目次

- ・目的
- ・イベント内容
- ・影響

目的

身近な問題から始める国際理解

日本に住んでいるのに、日本の文化を詳しく知らない、体験できていないため、活動を通して外国の方とともに日本文化について学ぶ。

↓
昨年Lienが開催したイベントで取ったアンケートで「日本の学校を体験したい」という声がみられたため、「疑似学校体験」という形で日本の文化を体験してもらうことにしました。



時間割 (10:00~14:10 *~14:40予定)

0	あいさつ・SH
1	学活(自己紹介)
2	国語(エイゴダーダーク、折り紙)
3	英語(ジェスチャーゲーム、被ったらダメ)
4	体育(ドッヂビー、バナナ鬼ごっこ)
5	音楽(ジャアバーボンズに来ていただく)
6	書道

昼休み・給食
希望者のみ茶道
体験

＊放課後
希望者のみ
JKグーキ作り

イベント内容

疑似学校体験

場所:高知県立高知国際中学校・高等学校
対象者:小学4年生以上の全ての人々

参加人数:48人

開催日:10月12日(日)



校内で書道や茶道などの日本の文化や流行に触れつつ、年齢や国籍を超えた方々とアクティビティーを通して交流をする。

影響

外国人が日本の学校という普段はなかなか触れられない文化や学生の間で流行っている流行に触れることができる。

また、日本人もネイティブな外国人と関わり、協働することができる。これらにより、互いの国理解やコミュニケーションの向上を図る。

活動スケジュール

4月	学校許可取り[済]	10月	イベント開催 10/12(日)
5月	(子どもファンド助成)発表準備	11月	「国際ふれあい広場」参加(予定)
6月	(子どもファンド助成)発表	12月	活動発表準備
7月	ポスター・チラシ作成、発注 配布・掲示の許可取り	1月	活動発表準備
8月	ポスター・チラシを配布、 必要なものを買い揃える、応募開始、 団体とミーティング	2月	活動発表準備
9月	団体とりハーサル 9/28(日) 校内オランティア募集(書道・茶道)	3月	活動発表会

参加していただく団体

- ・森岡千晴さん
- ・ジャアバーボンズ

発表団体⑦ おもてな ship !

(活動テーマ：おもてな ship !)



皆さんこんにちは、私たちは、高知県を「また来たいと思ってもらえるまち」にする、おもてな ship !です。

皆さん、現在高知県に来る外国クルーズ船がとても増えていることを知っていますか。2025年に高知新港に来港したクルーズ船は、5年前の約1.9倍に増えています。そのこともあって、高知県ではWi-Fiの完備や高知新港一はりまや橋バスターミナル間の無料シャトルバスの展開が行われています。また、高知県の観光名所が車で30分圏内であることから、高知市中心部の観光需要が増加していると言えます。

しかし、高知県の観光は多言語対応が課題として挙げられます。外国人観光客が最も改善を望んでいるのがこの点です。実際、個人商店の中には、言語の壁から対応を諦めてしまっているところもあります。そのため、高知県では商店と観光客の両方を英語でサポートできる環境が必要であると言えます。

私たちはこれらの課題から、観光客の方々に「また来たい」と思ってもらえるための橋渡しをしたいと考えました。そこで、バス停から近く、高知観光の窓口となる場所で、特産品の紹介や漢字等の日本文化に触れる機会の提供、また、インフォメーションセンターの役割を担うことで、言語の壁を低くしたいと考えています。

私たちの行う活動は、土佐和紙や扇子等の高知を感じられる素材に、観光客の名前を筆ペンを使って漢字で書くというものです。この活動は今までに11回行っており、先日の活動では268人の方がご参加いただきました。自分の名前の漢字の意味を聞いて感動された方や、お孫さんの名前をリクエストしてお土産にされた方もいらっしゃいました。

これから活動としては、主に4つの活動を考えています。1つ目は書道や紙すき等の日本文化の体験、2つ目はミレーやごっくん馬路村等の高知の特産品の紹介、3つ目は活動周知のためのチラシ配布、4つ目は商店街の課題解決のための取組です。試食を通じて高知の特産品に興味を持ってもらい、英語のパンフレットでお店を案内することで買い物のきっかけをつくり、地域の活性化につなげていこうと考えています。

【質疑応答】

岡崎審査員

外国人の方の名前を書く際に用いる扇子等については、外国人の方に購入してもらうのか、団体で準備するのかどちらになりますか。



おもてな ship !

扇子等は団体で購入したものにお名前を書いて、無料で渡しています。

岡田審査員

申請書に書かれている「尊重しあえる街」はどのように作るのですか。

おもてな ship !

試食を通じて高知の特産品に興味を持ってもらい、英語のパンフレットでお店を案内することで買い物のきっかけを作り、地域の活性化につなげようと考えています。「尊重しあえる街」はこの部分が該当すると思っています。

高橋泰審査員

2つ質問があります。1つ目は先ほどもあった「尊重しあえる街」について、皆さんには日本や高知の文化を伝えるという活動をされると思いますが、反対に観光客の方を理解するためにこういったことをされるのでしょうか。2つ目は試食についてで、例えば試食を開催しない日は漢字等の日本の文化を伝えることになると思いますが、その中でどのように高知らしさを出される予定なのでしょうか。



おもてな ship !

1つ目のご質問については、英語でコミュニケーションをとることで相手を理解することになります。2つ目のご質問については、紙すき体験を予定しており、この体験が高知らしさにつながっていると思います。

竹崎審査員

2つ質問があります。1つ目はこれまでの活動について、今後は助成を受けての活動を予定されていると思いますが、これまでの活動の資金はどのように調たちされていたのでしょうか。2つ目は活動への集客の方法について、どのような方法を予定されていますか。

おもてな ship !

1つ目のご質問については、私たちはこれまで「おまち学園」という別の団体で活動していたのですが、その団体がなくなったため、新たに団体を立ち上げ、助成を受けて活動をするということになりました。2つ目のご質問については、バスターミナルでのチラシ配布やはりまや橋周辺でのポスターの掲示依頼、HPの作成やInstagramの投稿を考えています。

竹崎審査員

高知新港でチラシを配布しても良いのかなと思いました。



おもてなship!

~また来たいと思えるまち 高知~

高知県の現状

富田龍一(2025)より、
2025年度の外国クルーズ船予約数
1.9倍(98回)

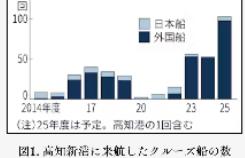


図1. 高知港に来航したクルーズ船の数

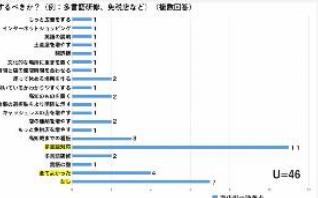
高知県の取り組み

- ・Wi-Fi完備
- ・無料シャトルバスを展開(新港→はりまや橋BT)
- ・人気の観光地が車で30分圏内

観光需要 増加中

高知県の現状

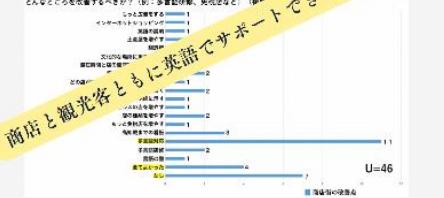
個人商店 89軒とクルーズ船外国人観光客 46人に調査したところ、
個人商店: 外国人観光客への対応はほとんどなし(西語の壁により若める)
観光客: 説明をして多く店舗を訪ねる
どんなところを改善するべきか? (複数可選、先送込など) (複数回答)



U=46

高知県の現状

個人商店 89軒とクルーズ船外国人観光客 46人に調査したところ、
個人商店: 外国人観光客への対応はほとんどなし(西語の壁により若める)
観光客: 説明をして多く店舗を訪ねる
どんなところを改善するべきか? (複数可選、先送込など) (複数回答)



U=46

高知県の現状

クルーズ船の課題

寄港時間が短く、観光が表面的になりがち

地域との接点が薄い
リピーターになりにくく

この活動を始めた理由

課題

活動を行うことで、
観光客の満足度向上
地域の継続的な活性化
言語の壁の解決

今までの活動

観光客の方の名前を漢字にして書く
好きな物語を語らせてもらひ、手紙を書いてもらひ



今までの活動

観光客の方の名前を漢字にして書く
好きな物語を語らせてもらひ、手紙を書いてもらひ

2024年
3/14 4/16 4/27 7/7 8/19 11/17 11/23

2025年
3/26 3/27 4/3 6/14

1,000人以上の観光客の方々やお店の方から好評!

これからの活動

<p>01 日本文化の体験 ex:) 紙漉き、書道、折り紙</p>	<p>02 高知の特産品紹介 ex:) ミラー、ごっくん馬路村etc..</p>
<p>03 活動周知 ex:) チラシ配布、TIP作成</p>	<p>04 商店街の抱える課題解決</p>

これからの活動

<p>7月 14日: 個人商店の課題について意識高め会 15日: 在来植物、土産、地元の文化を語り合ひ 16日: 地元の手紙を語り合ひ、個人商店と連携の取り組み 20日: 観光の好きな人語り、個人商店と連携の取り組み会 30日: 観光の好きな人語り、観光の課題と個人商店との名前を書く</p>	<p>8月 6日: 地元の手紙を観光客の名前を書く 19日: 地元の手紙を観光客の名前を書く 22日: 観光の好きな人語り、2つめの課題の準備会</p>	<p>9月 2日: 観光と旅の会 3日: 観光と旅の会</p>	<p>10月 1日: 言葉・物語の会</p>
--	--	---	----------------------------

発表団体⑧ おもいっきり！

(活動テーマ：おもいっきり遊べる場所の提供)



皆さんこんにちは、おもいっきり！です。

まず、イベントのテーマについてです。現在、地域の公園等が減少しており、子どもたちが外で遊べる場所がなくなっています。それにより、子どもたちが外遊びをせず、室内でゲーム等を用いて遊ぶことが増えているので、そういった子どもたちに対し、今回のイベントを通じて外で遊ぶことの楽しさを知ってもらいたいと思いました。

次に、今回のファンドに応募した理由です。今回のファンドは高知市という行政機関が関わっているということで、私たちがこうしたイベントを企画していることを行政の方にも知ってもらい、新しい公園の設置に着手してほしいと考えたためです。

次に、おもいっきり！の概要についてです。イベントの日程は、12月20日（土）を予定しています。会場は、東部スポーツパークの多目的ホールです。入場料は無料となっています。

次に、コンテンツについてです。2023年のWBCメンバーのグッズを中心とした展示ブースを予定しています。親子で活動できるコンテンツも用意しようと考えています。リラックスできる空間も用意しようと考えています。

次に、このイベントがターゲットとする年齢層についてです。私たちは、主に小学校1～2年生といった低学年の児童を対象としています。その理由としては、低学年のうちから運動する習慣を身につけることで、大きくなっても運動する習慣ができておらず、外で遊ぶ子が増えると思ったからです。

次に、協力団体についてです。野球に関する大手メーカーの皆様に野球グッズの展示や提供をしていただきます。また、日本プロ野球OBクラブ様にも協力していただき、イベント時のゲストを派遣していただく予定です。

次に、告知方法についてです。イベントのプレスリリースとして高知新聞様にご協力いただく他、SNSキャンペーンとして協力団体のSNS等から宣伝を行う予定です。

次に、予算についてはパワーポイント資料どおりとなっています。

スケジュールについてもパワーポイント資料どおりで、大抽選会では全ての人が参加可能となっています。

【質疑応答】

古用審査員

ボール遊びの中で、ボールが人に当たってしまった場合どのように対処しますか。



おもいっきり！

不測の事態に備えレクリエーション保険に加入しますが、安全配慮は最重要事項と認識しています。ゲスト間の距離についても配慮していきます。また、当たっても痛くない、柔らかいボールを使用します。

矢野審査員

スケジュールの中にゲストサイン会とありますが、ゲストはどのように呼ぶ予定ですか。

おもいっきり！

協力してくれる大人の方から連絡先をいただき、私たちが電話等で交渉を行います。

田中審査員

イベントに応募できる年齢はどのようにになっていますか。

おもいっきり！

対象年齢については、親子でも楽しんでいただきたいことから、上限は設けていません。

増田審査員

予算の中で、ゲスト召喚費の割合が高くなっていますが、この金額が本当に必要なのでしょうか。

おもいっきり！

予算は限度額に収まっているので、この金額内で呼べるゲストにお声かけしたいと考えています。

増田審査員

ゲストは1名ですか。

おもいっきり！

人数は未定です。

竹崎審査員

私からも予算についてですが、ゲスト召喚費がかなり高額なのに対し、事業自体は継続的な開催を想定していないように思いました。これほどの高額なお金を使うのであれば、できるだけ長期的にイベントを開催していくと良いと思いました。



野村サポーター

ゲスト召喚というのは、参加者の皆さんに楽しんでもらうためのものだと思いますが、先ほどの竹崎審査員の発言は、例えば夏に2回開催する等、子どもたちにおもいっきり楽しんでもらう機会を作ることに重点を置いてはどうかという思いでの発言だと思います。その点についてはどのようにお考えですか。また、金額についてもう少し考える余地はありますか。

おもいっきり！

開催日を12月にしているのは、熱中症対策のためとなっています。金額については、今後改善していくかと考えています。



永野サポーター

協力団体の中にメジャーな企業がいくつかありますが、既にアポをとった状態で計画として載せている状態ですか。

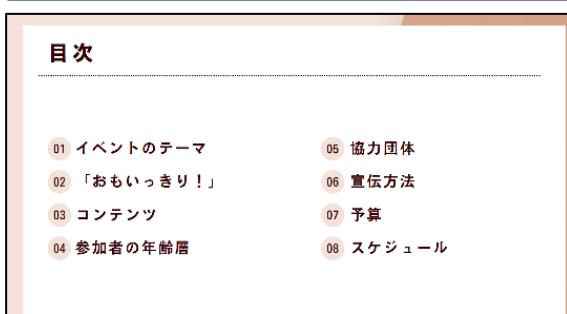
おもいっきり！

現在野球人口が全国的に減っており、掲載しているような野球の大手企業様はこういったイベントに積極的に協力をされています。昨年私たちが参加した類似するイベントにもお手伝いをいただいているので、今回も依頼するよう予定しています。



運営体制

主催 チーム「おもいっきり！」
生徒主導 和泉陽向（土佐塾）、一柳慶心（大津）
大人
サポーター 長友孝憲、結城慎二、友永和弘
横江志保、稻田侑真



イベントのテーマ

「おもいっきり！」は、社会情勢や地域の事情により、「遊び場」が減少した子供たちに對し、やりたいことを「おもいっきり」楽しんでもらうイベントです。私たちが活動している「やきゅう」を通して、からだを動かす爽快感をあじわってもらいます。親子連れ、ともだち同士が集まり、「たのしさ」を共有できる場を提供します。また、親世代にも特別感をもってもらうために、「夢」のような時間を提供します。



コンテンツ

ストラックアウト ティーボール 展示ブース

的に向かって「おもいっきり！」 はるか遠くへ「おもいっきり！」 貴重なグッズを「おもいっきり！」みよう

コンテンツ

親子キャッチボール



周りに気にせず
「おもいっきり！」

バランス・リズム遊び



できるまで
「おもいっきり！」

世代を超えて



親子で
「おもいっきり！」対決

コンテンツ

昔遊び



野球カードで
「おもいっきり！」

夢の空間



記念撮影を
「おもいっきり！」

憧れの時間



あの人に
「おもいっきり！」接近

コンテンツ

リラックス①



「おもいっきり！」
のんびりと

リラックス②



「おもいっきり！」
お腹も満たして

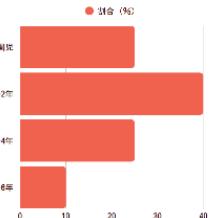
リラックス③



自由に
「おもいっきり！」

参加者のターゲット年齢層

幅広い年齢層のこどもたちに参加して
もらい、親世代も一緒に楽しんでもら
えるイベントにしたいと考えていま
す。



協力団体と協力内容

協力団体

ミズノ株式会社、ゼット株式会社、SSK株式会社、株式会社久保田運動具店

協力内容

あそび道具の提供および、プロ野球選手（2023WBCメンバーを中心）の実使用
道具やグッズ貸し出し（触れる）、選手サインなどの抽選会景品提供

協力団体

日本プロ野球OBクラブ

協力内容

イベント時に参加者と一緒に「おもいっきり！」遊んでくれるゲスト派遣

告知方法

プレスリリース



イベントの詳細をまとめた
プレスリリースを作成し、
地元のメディアに配信します。

SNSキャンペーン



SNSで「おもいっきり！」を宣伝し、#を活用して参加者からの投稿を増やします。

ポスターとチラシ



市内のスーパー・ショッピングモールにポスターとチラシを掲示・配布します。

予算

広告宣伝	50,000円
会場費用	20,000円
ゲスト召喚費用	110,000円
その他	10,000円
合計	190,000円

スケジュール

12月20日（土）

13:30

オープニングセレモニー

13:35

「おもいっきり！」開始

15:30

ゲストサイン会（抽選20種）

16:00

大抽選会

16:20

クローズセレモニー



3 審査員による公開協議

こども審査員による一次判断

評価ポイント

- ① 協力してみんなで楽しめるか
- ② 地域がよくなるか
- ③ 計画性・継続性があるか
- ④ 活動に対して本気で取り組めるか



No.	団体名	一次判断		
		いいね！	もう少し質問がある	もうちょっと！
1	江ノ口っ子戦隊 マモルンジャー	●●●●●●●●	●	●
2	春野地域活性化 プロジェクトチーム	●●●●●●●●●	●	
3	KnItter's	●●●●●●●●●	●●	●
4	Footlights 高知	●●●●●●●●●	●●	
5	Neo Voting	●●●●●●●●●	●●	
6	Lien	●●●●●●●●●●●		
7	おもてな ship !	●●●●●●●●●●●		●
8	おもいっきり！	●●●●●●●●●●	●●	

3 審査員による公開審議

【進行：野村サポーター、尾崎サポーター】

「いいね！」が多く貼られていますが、「もう少し質問がある」「もうちょっと！」にも少し貼られていますので、一つ一つやり取りをさせていただければと思います。



↑ 野村サポーター



↑ 尾崎サポーター

公開協議① 江ノロっ子戦隊マモルンジャー

増田審査員

この団体の主体は小学校6年生で組まれています。今年は6年生でやっていければ良いですが、来年度からは4年生1人だけになってしまいませんか。

江ノロっ子戦隊マモルンジャー

来年度からは6年生も色々な中学校に行くと思いますので、今年の内に登録制のマモルンジャーハンカチをもらった人に受け継いでもらっていこうと思っています。

尾崎サポートー

6年生の皆さんの中学生に上がられてからも活動は継続されますか。

江ノロっ子戦隊マモルンジャー

できる人は継続していくつもりです。

岡崎審査員

ハンカチを配るだけでは、不審者の更生につながらないのでないでしょうか。

江ノロっ子戦隊マモルンジャー

ハンカチを配るだけではだめな人もいるかもしれないのと、あいさつ運動もどんどんやっていって、心を入れ替えてもらえたたらと思っています。

また、マモルンジャーハンカチを持っている人は正義の心を持っている人なので、ハンカチを持っている=不審者ではないと考えています。

そして、不審者は普通人前には出てきません。そんな人たちが人前に出てきて、「私はあいさつする正義の心を持っている人です」なんて言うわけがないので、ハンカチを持っている時点で不審者ではないと思います。



竹崎審査員

感想になります。

ハンカチもそうですし、まず「あいさつ」という点に着目したところが私は良いと思っています。あいさつは当たり前のように、できない人もいるので、あいさつ運動を通じて地域とのつながりをより良くしていってほしいと思っています。

公開協議② 春野地域活性化プロジェクトチーム

高橋奏審査員

ハルピア祭りに参加される目的として、同じ世代の人たちがもっとお祭りに参加するということを設定されていますが、どうしてこのお祭りに同年代の人がもっと来てほしいと思ったのかについて聞きたいです。

春野地域活性化プロジェクトチーム

今、地域の小中学生が参加できる夏祭り等のお祭りが減ってきていて、地域の方と小中学生が交流できる場が少なくなっています。そこで、地域の方が運営するハルピア祭りに対し、もっと共有出来たら良いなと思ったからです。



尾崎サポーター

現状、ハルピア祭りにはどのくらいの人が参加していますか。

春野地域活性化プロジェクトチーム

現在は小学生を中心として約300人ほどです。

尾崎サポーター

もっと層を増やしていきたいということですね。

野村サポーター

ハルピア祭りというのは、どんなお祭りで、どんなことが楽しいのですか。

春野地域活性化プロジェクトチーム

bingo大会等があって、小さい子も楽しめるお祭りです。

尾崎サポーター

お祭りの中に既にbingo大会があって、更にbingo大会を行うということですか。

野村サポーター

そのようですね。もらった意見の中で、「bingoに工夫をしたらどうか」というものがあったと思いますが、その点についてはどのように工夫・改善していくと考えていますか。

春野地域活性化プロジェクトチーム

現在のbingo大会は景品がお菓子等のため、景品を工夫したり、先ほどご提案いただいた春野に関するbingoに変える等して、もっと人を集めようと思います。

尾崎サポーター

春野に関するbingoとは具体的にどのようなものになりますか。

春野地域活性化プロジェクトチーム

内容はまだ考えられていません。

野村サポーター

bingoにこだわらなくても、例えば春野に関するクイズを解きながらスタンプラリーをするというものにしてみても良いかもしれませんね。今は皆さんも考えている途中で、改善できる余地はあると考えていて良いですか。

春野地域活性化プロジェクトチーム

はい。

公開協議③ KnItter's

岡崎審査員

自由記入コーナーの中に、「オーテピアで、お年寄りの方に向けて手先を使う画用紙で作るカーネーションやタオルベアに挑戦してもらい～」とあります。まず高齢者の方々がオーテピアに来るのが難しいのではないかと思います。なので、オーテピアではなく、お年寄りの方がたくさんいる施設でやつたらどうかなと思いつます、いかがでしょうか。



KnItter's

手先を使って活動できる人は比較的健康的な人だと考えています。介護施設に通う人等を対象とすると、現在のタオルベアよりも簡単なものを題材とする必要があるため、移動に関しては車椅子等を使用される方はいらっしゃるかもしれません、オーテピアに集まることができる方を対象として開催したいと考えています。

岡崎審査員

認知症の方を対象としたものを作成されるとのことなので、タオルベア等の少し難しいものとは別で、そういう方々も作れるものを開催するというのはいかがでしょうか。

KnItter's

将来的に認知症にならないために、手先を使って編み物を作るのはどうですかという告知をやりたいと考えているので、様々な場所で開催するのではなく、広くお知らせできる場所としてオーテピアを活用したいと考えています。

野村サポーター

様々な施設にも行かれるとのことで、オーテピア以外での開催は予定していませんか。

KnItter's

他の場所も追加できれば、そこで開催することも楽しそうだと感じました。ですが、現在施設では新型コロナウイルス感染症対策により、入居者の家族でも自由に立ち入ることが難しいので、広く参加者の方を募るのは難しいと思います。

増田審査員

活動自体は認知症予防でとても良いことだと思いますが、認知症マフを中心として活動をしていくのか、認知症予防のために様々な活動を行っていく中でその中心が認知症マフなのか教えてください。



KnItter's

元々は認知症マフの認知度を高めることを目標としていましたが、今後認知症患者が増えていくというデータもあったので、まず初めに老後に向けたことを行い皆さんに知ってもらった後で、認知症マフを病院等に提供していくことをメインとしたいと考えています。

古用審査員

認知症マフを人数分作成するのは大変ではないかと思ったのですが、人手は足りていますか。

KnItter's

KnItter's は全員で 25 人いるので、その中で 1 人〇個ずつ作成するという形で分担しようと考えています。また、学校の文化祭で自分たちの活動を宣伝することで、活動に興味を持ち、参加してくれる人もいるのではないかと考えています。

高橋奏審査員

私自身この審査会で認知症マフを初めて知りましたが、初めは数個だけの提供だとしても、それが認知症マフの認知度を上げることにつながると思うので、今後の活動を楽しみにしています。

公開協議④ Footlights 高知

高橋奏審査員

今回の審査基準にもある「継続性」について、今年度の調査を経て作成したパンフレット等をその後どのようにするのかが分からなかったので、継続性についてどのように考えられているのか教えてください。



Footlights 高知

1 年目の活動としてパンフレットを作成した後、2 年目の活動としてリーフレットの作成や自分たちでお菓子をデザインするといったことを考えています。

高橋栞審査員

SNS を利用しないとパンフレットを手に取る人は少ないのではないかと思いました。

Footlights 高知

高知県の X のアカウントがありますが、今の若い人はあまりそういったものは見ていないのではないかと思います。そのため、若い人に周知するというよりは、観光客の方に絞った方が良いのではないかと考えています。SNS のアカウントは、アンケートに活用しようと考えています。

野村審査員サポーター

今回の Footlights 高知の皆さんの発表資料はお菓子がたくさん散りばめられていて、見ているだけですごく伝わってくるものがあると思いました。なので、高橋栞審査員が仰っていたように、例えば学校の HP に掲載してもらう、こどもファンドのインスタグラムに広報してもらう等の手段を活用してみてはどうでしょうか。

竹崎審査員

私は昨年度まで久重 natural チームという団体でこどもファンドの助成を受けて活動していましたが、その団体での Instagram を開設していました。広報の際にはわざわざ Instagram を見てもらうのではなく、何かイベントを実施した際に「私たちは Instagram をやっていますので、是非見てください。」と紹介することで、今まで実施してきた活動を知ってもらうきっかけにもなったので、そういった点でも SNS の活用はかなり有効的ではないかと思います。

尾崎審査員センター

SNSは若者向けに活用するのもそうですが、例えば英語で投稿する等、海外の観光客に向けた発信をするのも1つの手段ではないかと思います。

Footlights 高知

これから1つずつ工夫しながら考えていきたいと思います。



公開協議⑤ Neo Voting

岡崎審査員

イベントは小学生も対象にしていたと思いますが、優勝賞品がモバイルバッテリーというのはどうかなと思いました。それよりはお菓子の詰め合わせにしたり、参加賞でお菓子を配るといった方が良いのかなと思いましたが、どのように考えられていますか。

Neo Voting

モバイルバッテリー自体は需要が高いと考えています。対象を小中高生と幅広くしていますが、小学生でもスマホを持っている人はかなりいますので、必要性もあり、集客も見込まれると思います。前回の優勝賞品は米5kgとしていましたが、持って帰れない上にそもそも手に入りにくいため、持ち運びしやすくて色んな人からの需要が高いモバイルバッテリーを今回の優勝賞品に選定しました。



岡崎審査員

できるかどうかは別として、図書カードにするという案はどうでしょうか。

Neo Voting

図書カードも最初の案にあったのですが、金券等は譲渡できないということになっていましたので、悩んだ末にモバイルバッテリーになりました。

野村審査員センター

先ほど休み時間に Neo Voting の皆さんに尋ねたところ、皆さん政治に興味があって、自宅でも政治の話をしていると伺い、Neo Voting の皆さんのが政治について周りに波及していく役割を担っていると思いました。先ほど卯月審査員と話をした中では、全国規模では参議院選挙、高知市の規模では市政を題材としてみてほしいとの案が出ましたが、それについてはどのように考えていますか。

Neo Voting

その内容を盛り込んだ活動はできると思います。7月の参議院選挙については団体の活動的に難しい面もありますが、市政等について周囲に呼び掛けていくことはできると思います。

公開協議⑥ Lien

尾崎審査員センター

Lien さんについては、審査員 10 人全員が「いいね！」となりました。そこで、審査員の方からは感想等についてお聞きしたいと思います。

岡田審査員

説明が分かりやすかったので、「いいね！」にしました。

古用審査員

今回の 4 つの審査項目全てができていると思いました。

野村審査員センター

古用審査員は現在小学 5 年生ですが、このイベントに参加してみたいと思いますか。



古用審査員

はい、思います。

野村審査員センター

昼休み等に参加者同士で交流ができれば良いと思いますが、どのように考えていますか。

Lien

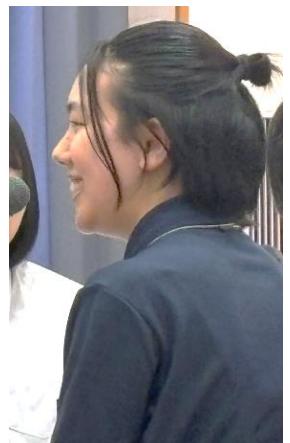
長休みの間に、日本人の参加者は外国人の参加者に日本語を教えて、その逆も同様にしてほしいと考えているので、今日会場にお集まりの皆さんも是非参加してほしいと思います。

野村審査員センター

日本人の方と外国人の方、両方をターゲットにしているということですね。

Lien

その通りです。



野村審査員センター

今回のイベントの対象者は小学校 4 年生以上と幅広いように感じますが、何か意図はありますか。

Lien

昨年英語 × スポーツのイベントを実施した時と同じで、当時は保護者の方も一緒に参加できるようにしていましたので、今回も同様に行う予定です。

公開協議⑦ おもてな ship !

岡田審査員

うちわを観光客の方に無料で配布すると仰っていましたが、購入費は支出の中に入っていますか。

おもてな ship !

アバウトな表現となっており申し訳ないですが、雑費に含まれています。今までの活動で使用してきた物品は、「おまち学園」という団体から寄附でいただいたものです。そこで寄附としていただいた物品の在庫にまだ余裕があるので、和紙やポストカード等の物品はそちらを使っていこうと考えています。雑費についてですが、クルーズ船で来られる観光客の方の人数は日によって異なっており、200人以上来られる日もあれば、雨等によって10人未満の日もあります。来客人数が読めないため、雑費の形でまとめました。内容は、鳴子や扇子等、在庫が少ないものの購入に充てる予定です。



尾崎審査員センター

おもてな ship !さんに限った話ではないですが、様々な物品を買われる中で、高知県内の物品を買われていると思いますが、それを例えれば高知県内の企業さんに営業に行って、スポンサーという形で協力してもらう形ができればそれも1つの応援の形になると思いますが、そういったスポンサー集めについて考えられていますか。

おもてな ship !

既にしています。ミレービスケットや芋けんぴ、ごっくん馬路村やアポ取り中のリープルについて話をしていて、ミレービスケットについては「どうぞ使ってください」とご提供いただいている。

尾崎審査員センター

支出の中にあるものについては、企業さんに当たってみるつもりですか。

おもてな ship !

協賛していただけるところは協賛していただくようにして、難しいとお返事をいただいたところについては購入して対応する予定です。

野村審査員センター

こどもファンドは予算編成も重要視されていますので、買うものをしっかりと見極めて予算を組んでもらうことが、全団体にとって大切だと思います。また、協賛してもらった物品は「〇〇店 提供」といった形で表示することで、スポンサーさんも嬉しいと思います。

公開協議⑧ おもいっきり！

竹崎審査員

ゲストを呼ぶことについて、1番の目的は集客でしょうか。

おもいっきり！

集客も1つの目的ですが、もう1つの目的としてゲストに憧れを持ってもらうというものがあります。ゲストへの憧れから日々の運動の習慣につながればと考えています。

高橋栄審査員

ゲストを呼ぶためにかなりの費用をかけられるとのことなので、例えばイベントを午前と午後に分けて2回開催するといったことを考えられていますか。

おもいっきり！

現時点では午後に開催する予定ですが、調整が可能であれば午前と午後の2部制も検討してみたいと思います。



野村審査員センター

皆さんゲストはどんな人が来るのかという部分が気になっていると思いますが、ゲストとして来てほしいと考えている人はいますか。

おもいっきり！

リサーチしている段階では、井川慶さん等を考えています。

尾崎審査員センター

1点事務局への質問です。今回ゲストの謝礼金として11万円が計上されていますが、こどもファンドとしては謝礼金の上限額に規定はありますか。

事務局

謝礼金の上限額についての規定はありません。今回公開審査会を開催するに当たり、事前に事務局で一次審査を行っていますが、規定がないこともあります。明確に助成不可となる基準がありませんでした。そのため、今回の公開審査会において、改めて助成の可否について検討していただく形とさせていただきました。

高橋奏審査員

感想ですが、子供たちにとっておもいっきり遊べることはとても良いことだと思うし、色んな学校の野球部から、同じ思いを持った皆さんのが集まって活動をすることもすごく良いことだと思いました。



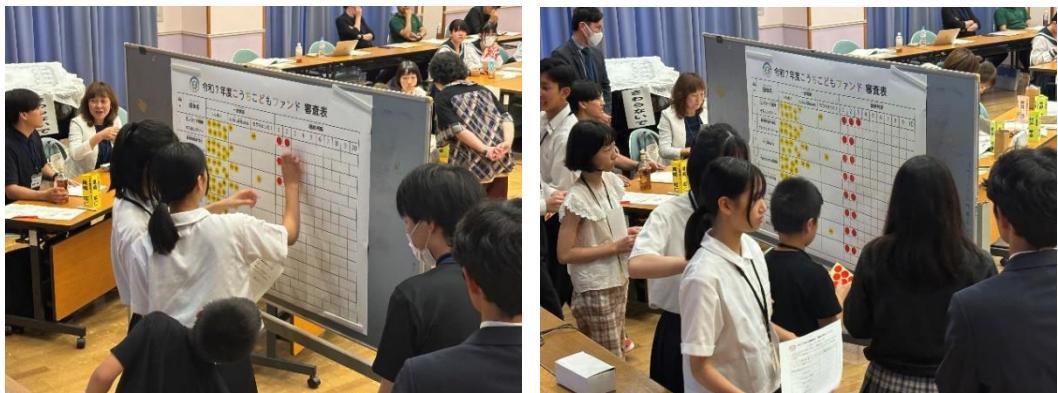
4 審査結果発表

審査結果発表

※ こども審査員の過半数（10名中6名以上）が助成すると判断した場合に助成決定

こども審査員とこども審査員サポーターとの話し合いの結果は、このとおりになりました。

団体名		助成金額（円）	得票数	助成合否
①	江ノ口っ子戦隊マモルンジャー	200,000	9	採択
②	春野地域活性化プロジェクトチーム	200,000	9	採択
③	KnItter's	198,000	10	採択
④	Footlights 高知	113,500	9	採択
⑤	Neo Voting	144,800	10	採択
⑥	Lien	145,210	9	採択
⑦	おもてな ship !	182,092	10	採択
⑧	おもいっきり！	190,000	9	採択



皆さん、
本当におめでとうございます！
1年間、がんばってください。



尾崎審査員センター

今日はお疲れ様でした。これから皆さんは試行錯誤しながら、3月の活動発表会まで素晴らしい活動をされていくと思います。私たち審査員は審査員となってはいますが、皆さんを応援する立場でもありますので、これから是非がんばってください。また、今日知り合った他の団体や審査員の方と積極的に交流や情報交換を積極的にしていただければと思います。

なお、私事ではありますが、私が職員をしている市民活動サポートセンターは、皆さんのような市民活動をサポートしておりますので、ご活用いただけますと幸いです。来年の活動発表会を楽しみにしています。



こども審査員からの感想発表

【竹崎審査員から】

本日はお疲れ様でした。

今回は、全団体への助成が決定しました。本当におめでとうございます。

個人的な話にはなりますが、私は今回の公開審査会に臨む各グループの個性を楽しみにしていました。特に、今回は発表した8団体中新規団体が6団体ということで、新規団体も楽しみにしていました。

まず、江ノ口っ子戦隊マモルンジャーの皆さんには、挨拶をテーマに、ハンカチを目印にして、地域のヒーローとして活動してもらえたとと思います。

次に、春野地域活性化プロジェクトチームの皆さんには、お祭りに同年代の人を集めるためには、同年代の人たちの意見が参考になると思いますので、皆さんのお目線からがんばってほしいと思います。

次に、KnItter's の皆さんには、認知症マフという中々触れづらいものに切り込んでいく姿がかったいいと思いました。これからもがんばってください。



次に、Footlights 高知の皆さんは、お菓子やパンをテーマにしていて、私自身も学校で高知のお菓子やパンをテーマにした課題探求をしたことがあり、そこでは良いお菓子やパンがたくさんあったので、是非 PR してほしいです。

次に、Neo Voting の皆さんは、政治をテーマにされていて一見難しそうに思えるのですが、将来私たちにとって大事なことになるので、がんばってほしいです。

次に、Lien の皆さんは、国際交流をテーマにされていて、外国人の方は日本の学校文化を体験することがないと思うので、中々できない活動を外国人の方に楽しんでもらいたいと思います。

次に、おもてな ship ! の皆さんは、Lien さんと同じく国際交流をテーマにされていますが、うちわやコップ、鳴子を使っているのが、高知らしさがあっておもしろいと思いました。

最後に、おもいっきり ! の皆さんは、野球をテーマにされていて、おもいっきり遊びにくいこのご時世だからこそ小さい子にめいっぱい楽しんでもらいたいと思いました。

それぞれの団体に工夫・特徴がたくさんあって、聞きごたえのある発表でした。3月の活動発表会が楽しみです。また3月に皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。

高知大学 こうちこどもファンドアドバイザーサークルからの感想発表

【福留部長から】

発表団体の皆さん、採択おめでとうございます。

私たちアドバイザーサークルは、子どもの皆さんを1番に考えて活動していますので、皆さんの活動と一緒に楽しめたら良いなと考えています。また、大人の方よりも私たち大学生の方が皆さんと年齢が近いと思いますので、気軽に相談してくれたら嬉しいです。

3月までの活動になりますが、一緒に楽しんでいけたらと思います。よろしくお願ひします。



こども審査員サポーターからの感想発表

【宮田審査員サポーターから】

今日は皆さんのプレゼンや思いを聞いて、審査項目の4つ目にもあった「活動に対して本気で取り組めるか」ということをたくさん感じさせてもらいました。

本気で計画して実施していくという熱い思いが伝わってきました。

こうちこどもファンドを通して、主体的にまちづくりに取り組む、子どもたちの様々な視点からの思いが込められていました。

新しい人とのつながりや出会いによって地域が活性化していくことは、未来につながっていく取組だと改めて感じました。

本日はありがとうございました。



卯月審査委員長からの講評

本日は大変長い時間、皆さんお疲れ様でした。

3時間も同じ会にいると、疲れますよね。正直なところ、途中で帰りたくなることもあります。ですが、今日は本当に飽きずに楽しく聞かせてもらいました。

何が一番楽しかったのかと自分で考えてみると、発表してくれた小中高の皆さんと、それを審査していた小中高の皆さんのがやり取りが最も楽しく、最も魅力的で、これがこうちこどもファンドの魅力だと思います。特に今回は8団体中6団体が今年初めての挑戦で、発表する側はもちろん緊張するし、質問する側も「去年はこうだったよね。」ということができず、とても質疑応答が活発にされていたと思います。



さらに、今回は高校生の発表が多かったのに対し、小学生の鋭い質問も非常に多く、こういった光景は学校では考えられないものだと思います。このように、年齢差を超えて自分の思いを出し合うということが素晴らしいと思いました。

小中高と申しましたが、先ほど大学生の方の発表もあったし、今日の司会・進行をしてくれた増田さんは昨年までこども審査員として前に座っていました。つまり、こどもファンドの対象自体は小中高ですが、そこから成長して大学生や社会人の人たちも応援してくれているという雰囲気をとても感じました。

一つだけ気付いたことを申し上げますと、まちづくりを地域の中で進めていく時に、「小道具」があります。口で説明しても皆に伝わらない時に、ちょっとした「小道具」を活用できますが、このうちこどもファンドではそういった「小道具」がたくさん登場していました。例えばTシャツが挙げられますが、今日特に面白いなと思ったのは、まずは江ノロッ子戦隊マモルンジャーの「ハンカチ」でした。発表の中でもこども審査員から「本当に効果があるのか。」といった中々聞きづらいことを聞かれていて、凄いなと思いました。他の事例では、新宿区のある公園について、ごみのルールを守らない大人に対して子供が注意できないというものがありました。特に怖そうな大人に対しては、普通の大人も注意できないこともあります。そのため公園をきちんと使ってもらうためにはどうしたらしいかという議論があったのですが、そこで「バンダナ」の案が出ていました。バンダナは、公園を見守りたいという意思表示としての小道具になり、堂々と注意できるようになるそうです。普段は注意しづらい状況でも、そういった「小道具」が役に立って、この事例では実際に注意する事例が減ったそうです。こういった事例もあるので、不審者への効力は分かりませんが、発想が素晴らしいと思いました。とても期待していますので、来年・再来年にどのように事業を展開しているのか楽しみです。

もう一つはKnItter'sの「認知症マフ」です。これは、高齢者の方等に優しく接したいという思いがあっても、実際に声をかけてみるというのは難しいと思います。そんな時にこの認知症マフがあれば、声に出さなくても気持ちを伝えられると思います。特にこのマフは、買ってきたものではなく自分たちで作ったものです。江ノロッ子戦隊マモルンジャーがハンカチに団体のデザインを入れたとありましたので、認知症マフにもデザインとして入れると、それを使っている時に「KnItter'sの子供たちからもらったものだ。」という思いも伝わりやすいのかなと思いました。

もう1点申し上げますと、「講師謝礼金」について気になりました。先ほどの協議で「現段階では講師謝礼金の上限額に関する規定はない」として一次審査を通過したとありました。これについては正しいと思いますが、こうちこどもファンドは上限20万円の助成ですので、これからは講師謝礼金にかけられる割合について、議論して決めた方が良いのかなと思いました。実際、他のファンドでは、1人への謝礼金は最大3万円等と決まっているところもありますし、全国的に目安として上限額を定めているところも多いですので、今回の件をきっかけとして、次回に向けて議論も深めていけたら良いのかなと思いました。



資料編

高知市子どもまちづくり基金助成金交付要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、高知市子どもまちづくり基金条例（平成24年条例第23号）第1条に規定する基金の設置目的を達成するため、高知市子どもまちづくり基金助成金（以下「助成金」という。）を交付することについて、補助金等の交付に関する条例（昭和29年条例第19号）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(助成対象団体)

第2条 助成金の交付の対象となる団体（以下「助成対象団体」という。）は、次に掲げる要件のすべてを満たす団体とする。

- (1) 本市に在住又は通勤若しくは通学している18歳以下の子どもが3人以上いること。
- (2) 団体の責任者及び監査として、20歳以上の大人が2人以上いること。
- (3) 活動の目的が明らかであり、当該助成に係る事業を自主的に行えるものであること。
- (4) 複数の世帯で構成される団体であること。
- (5) 過去に、同一の事業についてこの要綱に基づく助成金の交付を3回以上受けていないこと。
- (6) 団体の運営に関する規約、会則等を定めており、適切な会計処理が行われていること。

2 前項の規定にかかわらず、助成対象団体が、高知市事業等からの暴力団の排除に関する規則（平成23年規則第28号。以下「規則」という。）第4条各号のいずれかに該当すると認める場合は、助成金の交付の対象としない。

(助成対象事業)

第3条 助成金の交付の対象となる事業（以下「助成対象事業」という。）は、本市内において、子どもが主体となって取り組むまちづくり活動に係る事業とする。

2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる活動は助成対象事業としないものとする。

- (1) 営利を目的とする活動
- (2) 宗教的又は政治的な活動
- (3) 学校の授業の一環として行う活動

(助成対象経費)

第4条 助成金の交付の対象となる経費（以下「助成対象経費」という。）は、助成対象団体が行う助成対象事業に要する経費とする。

(助成金額)

第5条 助成金額は、助成対象経費の額を限度として予算の範囲内において、市長が認める額とする。

(助成金の交付申請)

第6条 助成対象団体は、助成金の交付を受けようとするときは、助成金交付申請書（様式第1号）に、必要書類を添えて、市長に申請しなければならない。

(助成金の交付決定)

第7条 市長は、前条の申請があったときは、その内容を審査し、助成金の交付の可否を決定し、適當と認めたときは助成金交付決定通知書（様式第2号）により、適當でないと認めたときは所定の助成金交付却下通知書により当該申請をした助成対象団体に通知するものとする。

2 市長は、助成金の交付決定に際し、必要な条件を付することができる。

(交付申請の取下げ)

第8条 前条第1項の規定により助成金の交付決定を受けた助成対象団体（以下「助成事業者」という。）は、その内容又はこれに付された条件に不服があり、交付申請を取り下げようとするときは、当該交付決定の通知を受けた日から2週間以内に、その旨を所定の助成金交付申請取下届出書により市長に届け出るものとする。

2 前項の規定による申請の取下げがあったときは、当該申請に係る助成金の交付決定はなかったものとみなす。

(変更承認等)

第9条 助成事業者は、助成金の交付決定を受けた事業（以下「助成事業」という。）について、事業内容を変更し、中止し、又は廃止しようとするときは、あらかじめ助成事業変更等承認申請書（様式第3号）により、市長に申請し、その承認を受けなければならない。

2 市長は、前項の申請があったときは、速やかにその内容を審査し、変更等の可否を決定し、所定の助成事業変更等承認（否認）通知書により当該申請をした助成事業者に通知するものとする。

（実績報告）

第10条 助成事業者は、助成事業が完了したときは、速やかに実績報告書（様式第4号）に、関係書類を添えて市長に報告しなければならない。

（助成金額の確定）

第11条 市長は、前条の報告があったときは、速やかにその内容を審査し、助成事業の成果が助成金の交付決定の内容及びこれに付した条件に適合すると認めたときは、交付すべき助成金額を確定し、助成金額確定通知書（様式第5号）により助成事業者に通知するものとする。

（助成金の交付請求及び交付）

第12条 助成事業者は、前条に規定する助成金額の確定通知を受けたときは、助成金交付請求書（様式第6号）により市長に助成金の交付を請求するものとする。

2 市長は、前項の請求があったときは、速やかにその内容を審査し、適當と認めたときは、助成金を交付するものとする。

（助成金の概算払）

第13条 市長は、助成事業について必要があると認めるときは、助成金の概算払をすることができる。

2 助成事業者は、概算払を受けようとするときは、助成金概算払請求書（様式第7号）により、市長に請求しなければならない。

（助成金の交付決定の取消し）

第14条 市長は、助成事業者が次の各号のいずれかに該当したときは、助成金の交付決定を取り消すことができる。

- (1) 偽りその他不正の手段により助成金の交付を受けたとき。
- (2) 規則第4条各号のいずれかに該当することとなったとき。
- (3) 助成金を助成事業の目的以外に使用したとき。
- (4) 助成事業の実施方法が不適當と認められるとき。
- (5) 助成事業を中止又は廃止したとき。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、助成金の交付決定の内容又はこれに付した条件その他この要綱に基づく命令に違反したとき。

2 前項の規定は、助成事業について交付すべき助成金額の確定があった後においても適用があるものとする。

3 市長は、第1項の規定による取消しをしたときは、所定の助成金交付決定取消通知書により、助成事業者に通知するものとする。

（助成金の返還）

第15条 市長は、前条第1項の規定に基づき助成金の交付決定を取り消した場合において、助成事業の当該取消しに係る部分に關し、既に助成金を交付しているときは、期限を定めて、その返還を命じなければならない。

2 市長は、助成事業者に交付すべき助成金額を確定した場合において、既にその額を超える助成金を交付しているときは、期限を定めて、当該確定した助成金との差額の返還を命じなければならない。

（調査等）

第16条 市長は、助成事業の適正な執行を確保するために必要な限度において、助成事業者に対し、書類の提出若しくは報告を求め、又は必要な調査をすることができる。

（整備保管）

第17条 助成事業者は、助成事業に係る帳簿及び関係書類を整備するとともに、助成事業の完了した日の属する年度の翌年度から起算して5年間保管しなければならない。

（その他）

第18条 この要綱に定めるもののほか、助成金の交付に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

【発行】

高知市 市民協働部 地域コミュニティ推進課

〒780-8571 高知市鷹匠町2丁目1-43

TEL／088-823-9080

FAX／088-824-9794

＜令和7年12月発行＞